

Clear
File
NEXT

不要になったクリアファイルが
命を守る「防災・防犯ホイッスル」
に生まれ変わります!!

STEP1

不要になった
クリアファイル



回収BOX

学校・コンビニ・銀行・図書館・病院
スーパーやショッピングモール・官公庁など
様々な場所に設置することができます。

※幅26cm高さ17cm奥行31.5cm/約150枚回収可能

STEP2 ペレット化

クリアファイルを粉碎し
ペレットにして材料に。



クリアファイル約2枚で1つのホイッスルが製造できます。

STEP3

命を守る

「防災・防犯ホイッスル」



商品やノベルティとして

オリジナル商品としてご提供出来ます。
企業名やロゴを入れてノベルティとしても
SDGSへの取り組みをPR出来ます。

小売価格：オープン

参考ご提供価格：275円（税込）

1ロット500個~/本体材質：PP、Bチェーン：鉄
日本製

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社タイヨー

〒461-0025 名古屋市東区徳川2-20-16
<https://sdgsgoods.com/>

3R THREE PROJECT

052-936-8432

各方面から、予想を上回る反響を頂戴しています。

2025.8/5～文紙MESSE2025でのプロジェクト発表から、様々なお問い合わせを頂いています。



来場者様、関係企業様からのご意見の一部をご紹介します。

- 使わなくなったクリアファイルを使っているのがエコだと思いました。(10代/女性)
- 処分が困りがちのクリアファイルを身近な防災グッズに変えて上手に使っているのが素晴らしいです!!(40代/女性)
- 資源の再利用と防災グッズを両立した商品は素晴らしい!! 今後もっと色々な商品を出して欲しい。(30代/男性)
- 不要なクリアファイルの再利用とてもあっぱれ!! ただ企業だけでなく自治体やスーパーなど生活の中でもあればより良いと思った。(50代/女性)
- 家庭でも企業・区役所・病院でも多くのクリアファイルはたくさん出てゴミになるだけのものを再利用して、役立つものに変えるのは良いと思った。(20代/女性)
- クリアファイルの再利用で命を守る行動が出来る。SDGsに添って良い。(20代/女性)
- いつ災害が来るかもしれない時代にピッタリ(50代/女性)
- SDGsを学ぶ・考える・良い機会になると思った。(40代/女性)
- 環境を守る。命を守る。が素晴らしい。(40代/男性)



クリアファイル回収BOXの設置にご協力ください。

中日新聞 2025年(令和7年)9月30日(火曜日) 市民版 14

2025.9/30、中日新聞に掲載されました。

私たちタイヨーは、環境に配慮したリサイクル製品を活用したノベルティグッズや製品をご提案しています。廃棄物を価値ある製品へと生まれ変わらせることで、SDGsの目標達成に貢献するだけでなく、環境への真摯な姿勢を、お客様や取引先様へ具体的な形で伝えることができます。

企画から商品化まで、トータルでサポートし、お客様のビジョンやニーズに合わせたオリジナル製品の開発も可能です。ノベルティは、企業の想いを手に取り感じていただける大切なツールだからこそ、サステナブルな素材選びがブランド価値を高めます。

タイヨーは単なる製品提供ではなく、パートナーとしてお客様のSDGs活動に寄り添い、共に持続可能な社会の実現を目指してまいります。



クリアファイルをホイスルボックスに回収する取り組みを始めたタイヨーの伊藤さん(東区)

東区の企業 不用品で試み

作り替える品として思い付いたのが、防災や防犯に役立つホイスル。昨年の能登半島地震で、被災者が倒壊した家屋がれきの下から助けを求めても、救助者に声が届かなかったのがホイスル。

防災、防犯用ホイスルに再生

クリアファイル回収ボックスの設置場所を募っている。タイヨー11052(936)8432

不用品を付加価値のある別の物に生まれ変わらせるアップサイクルに取り組むグッズ制作会社タイヨー(東区)が、使わなくなったプラスチック製のクリアファイルを防災や防犯に役立つホイスルの材料を試み始めた。新型コロナウイルス禍を契機に動きが変化し、廃棄されるクリアファイルが増える予想している。(稲垣達成)

クリアファイルが助け求める「声」に

タイヨーはこれまで、ドリップ用のコーヒーかすや茶葉を店舗や工場から回収し、コースターやボールペンの軸などにアップサイクルしてきた。次なるターゲットに定めたのがクリアファイルだった。

コロナ禍によって増えたテレワークの導入企業では、社内外のやりとりはオンラインが主流に、あわせて、紙の資料をデジタル化するペーパーレスの動きも広がった。エンカル事業部長の伊藤敦さん(33)は「そうした企業ではファイルは邪魔になっており、需要は今後も減るとみる。作り替える品として思い付いたのが、防災や防犯に役立つホイスル。昨年の能登半島地震で、被災者が倒壊した家屋がれきの下から助けを求めても、救助者に声が届かなかったのがホイスル。」「今後、集客が見込める施設などに回収ボックスを設置。集めたクリアファイルを粉碎し、粒状のペレットに加工した上で、金型に流し込み成形する。詳しい手法は「企業秘密」だが、ホイスルとしてきちんと音が鳴るよう試行錯誤を重ねた。」「8月上旬には、大阪市であった文具の展示会に出展。縦6・5センチ、横1・6センチ、厚さ0・6センチのホイスルを並べ、好評を博したという。伊藤さんは「捨てられるクリアファイルを活用し、持続可能な社会を実現するほか、社会課題を解決できたことが、新たな取り組みに期待を込める。」「クリアファイル回収ボックスの設置場所を募っている。」「タイヨー11052(936)8432

市民版



好物
若原修(名東区)
無所属
ニュース・情報は下記へ
社会部
231-7333 Fax 201-4331
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

紙面へのご意見は
読者センターへ
221-0800 Fax 221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ
購読申し込み
0120-454010

株式会社タイヨー

〒461-0025 名古屋市中区徳川2-20-16

お問い合わせはお気軽に

3R THREE PROJECT

052-936-8432

https://sdsgsgoods.com/
info@sp-taiyo.co.jp

